15 平成22年度大分県高等学校新人弓道競技大会実施要項

1　期　日　　平成 22 年 10 月 16 日 （ 土 ） 10： 20 ～ 開会式
10： 40 ～ 団体戦予選（1立目4矢）
14： 10 ～ 団体戦予選（2立目1手）
15： 30 ～ 個人戦予選・決勝
17： 00 ～ 終了式（個人戦表彰式）
10 月 17 日 （ 日 ） 9： 30 ～ 開始式
9： 50 ～ 団体戦予選（3立目4矢）
13： 30 ～ 団体決勝トーナメント
15： 40 ～ 閉会式（団体表彰式）

2　会　場　大洲総合運動公園弓道場（大分市青葉町）　TEL 097-551-2110

3　競技規則　全国高等学校体育連盟弓道競技規則及び（財）全日本弓道連盟競技規則による。

4　競技方法　（1）種別は、①近的・立射　②男女別　③団体競技・個人競技 とする。
（2）団体競技について（予選）
ア.男子・女子の順に、4矢1立・1手1立・4矢1立（チーム50射）を行う。
イ.2チーム同時に行射する。
ウ.団体の同中競者は、各自1本ずつの競者とする。
エ.1チームの行射制限は、4矢は6分30秒以内、1手は4分30秒以内とする。
弦切れの場合、以後の射手は替弦を持たずに行射し、一巡したら正規の立順に戻る。
（3）団体競技について（決勝トーナメント）
ア.抽選により組み合わせを決定し、トーナメント方式で各自4射・チーム計20射を行う。
イ.抽選は、予選における的中数の1位・2位チームをシードとし、残り6チームで抽選を行う。なお1位又は2位チームが複数の場合は抽選によりシードチームを決定する。抽選の順番については、プログラム記載順とする。
ウ.同中の場合は、各自1射ずつの競射を行い、勝敗を決定する。競射1本目は予備矢を使用する。
エ.決勝戦の前に、1手競射による三位決定戦を行う。
（4）個人戦について
ア.予選は、男子・女子の順に各自4射を行い、3中以上を決勝進出とする。
イ.決勝は、男子・女子の順に各自4射を行い、的中上位者より順位を決定する。
ウ.優勝決定は射詰により、他は4射目遠近法により決定する。射詰競射5本目から8寸星的を使用する。
エ.予選・決勝とも順立ちとする。

5　参加資格　「平成22年度大分県高等学校新人大会実施要項」の参加資格に準ずる。

6　参加制限　（1）団体競技
ア.1校男女とも1チームとする。
イ.チーム編成は、監督1名・選手3名～5名、補欠2名の計4～8名とする。
選手3名以上を団体扱いとする。
ウ.選手の交代については、登録された補欠との交代のみを認め交代した選手は、以後補欠とみなす。1回の交代で、補欠2名同時に交代できる。
以下のように団体戦の交代回数を定める。
Ⅰ　一日目…監督会議前または試合中に1回
Ⅱ　二日目…監督会議前に1回
（2）個人戦
個人戦出場資格は、支部予選において男子10射6中、女子10射5中以上的中した者。

7　参加申込　（1）申込締切日　平成 22 年 10 月 8 日 （ 金 ） 必着

(2)申込み方法

所定の申込用紙は大分県高体連ホームページから入手し、下記アとイの方法で期限内に行う。

ア.(No15-1)様式により作成する。各一部を下記宛に申込先に郵送する。(要公印)

イ.アの申込ファイルを下記宛メールに添付する。

(ファイル名:競技名/校名/監督名)　※例　陸上男子大分商業大分太郎

hsttb508@oita-ed.jp　(メール受付:7日前～当日正午必着)

(3)申込先　〒870-0313　大分県大字屋山2009

大分東高等学校内　専門委員長　時枝　徹治

8　参加者負担金　選手(補欠を含むｴﾝﾄﾘｰ)1人につき　加盟校600円・非加盟校1000円。大会当日の受付で納入する。

9　出場権の獲得　男女とも団体戦1～3位の高校及び個人戦1～3位の者に、九州新人大会の出場資格を与える。

10　諸会議　第二回専門委員会　平成 22 年 10 月 12 日 (火) 10 時～ 大分商業高等学校

※立順は、専門委員会において抽選基準に基づいて厳正に抽選する。

監督会議　10 月 16 日　9:30～　17 日　9:00～

11　連絡事項

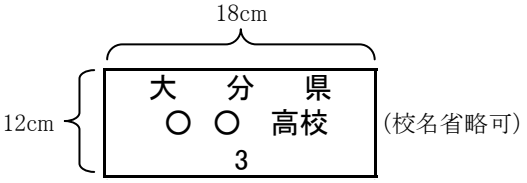
(1)服装は、弓道着又はユニフォーム(肩線のない白シャツ、校服のズボン・スカート白靴下)とする。

(2)鉢巻きを使用する場合は、無地とし、肩にかからない長さとする。

(3)弓具・服装の点検を行い、違反選手には行射させない。

(4)頭髪にリボンを着用することは禁止する。

(5)ゼッケンは、右腰前に付けること。なお、サイズは全国大会の形にできるだけ合わせること。また布地は白、県名と学校名は黒、番号は男子が黒、女子は赤で記入すること。



(6)呼び出しに絶えず気を配ること。

点検に遅れる等して、第一控「起立」の号令に間に合わなかった者は失格である。

(7)選手は大会競技規則を熟知し、違反のないように競技に臨むこと。

ア.甲矢を射る時、乙矢を取り矢すること。

イ.矢番え動作後、筈から弦が離れた場合「筈こぼれ」となり、その矢は失格である。

ウ.監督は道場内の選手に、発声又は動作で合図やアドバイスをしてはならない。選手も同様である。

(8)事故防止に最善を尽くさなくてはならない。そのため指示された危険区域(矢取り道・看的所横・巻き藁練習場)には立ち入らない。応援の者も競技運営に整然とした態度で臨む等、協力して欲しい。

(9)選手宣誓は、前年度男子優勝校の日田高校とする。

(10)各支部長は、支部予選大会終了直後直ちに、大会結果報告書を専門委員長あてに提出すること。